

糸あやつり人形 一糸座

新春を彩る華やかな舞と子どもから大人まで楽しめる古典喜劇。一流の人形遣いが魅せる日本の伝統芸能

2018年
1月13日(土)

新春公演

全席自由

大人・2000円 小人・1500円

出演 糸あやつり人形一糸座

結城一糸 結城民子 結城敬太

金子展尚 根岸まりな 他

照明 秋山浩二

音響 佐々木雄介

舞台スタッフ 田中めぐみ



横浜人形の家

新春公演

新年を祝う「寿三番叟」と「寿獅子」、
落語の演目としても知られる「田能久」を一流の人形遣いが披露します。
さらに、世界でも珍しい日本独自の糸あやつり人形を
体験できるコーナーも。
新春に、家族皆で楽しめる日本の伝統芸能に触れていただけます。

糸あやつり人形一糸座

2005年、三代目結城一糸によって「江戸糸あやつり人形座」として旗揚げ、15年に「糸あやつり人形一糸座」と改称。

結城一糸は、歴史ある伝統糸あやつり人形の一座「結城座」の座長十代目結城孫三郎(故結城雪斎)の三男として1948年に生まれ、5歳で初舞台を踏む。72年、三代目結城一糸を襲名。江戸時代から伝わる古典的な糸あやつり人形芝居の継承者として中枢を担いながら、国内外の前衛的な演出家との共同作業も積極的に進め、斬新な芝居作りを展開する。2003年に結城座から独立し、現一糸座を立ち上げた後も、チェコの糸あやつり人形劇団との合作「ゴーレム」上演など、伝統継承と革新の両面で意欲的な活動を続けている。



結城一糸

寿獅子
お正月やお祭りなどのおめでたい時に、魔よけ・悪魔払いとして舞われる獅子の踊りです。



寿三番叟
古くから神事として五穀豊穡を祈り、また新年・事始・舞台の安全を祈って開幕前に演じられていた神聖な舞です。糸あやつり人形の大事な動きが多く含まれ、日本の糸あやつり人形ならではの繊細でダイナミックな動きを楽しめます。



糸あやつり人形体験
世界でも珍しい日本の糸あやつり人形の仕組みをわかりやすくご紹介。さらに数名の方に実際に人形を用いて、古くから伝わる日本の伝統芸能を体験していただけます。

田能久
病気の母を見舞うための帰郷途中、旅役者の田能久は人を呑み込むという『うわばみ』と出くわします。田能久を「たぬき」と聞き間違えたうわばみは、「化けてみる」と命じ……。古典落語でも有名な演目を、人形遣いの台詞と義太夫を交え楽しくわかりやすい人形芝居で見せます。



演目



平成30年 **1月13日** (土)
横浜人形の家
あかいくつ劇場
11:00~ / 14:00~
《開場は開演の30分前》

全席自由
大人(高校生以上) / 小人(3歳以上~中学生)
2,000円 / 1,500円

- 3歳未満のお子様はお膝の上での鑑賞は無料
- 上記観覧料で、横浜人形を常設展示もご覧いただけます
- ※企画展は別途料金がかかります

お問い合わせ先

横浜市中区山下町18
横浜人形の家 045-671-9361

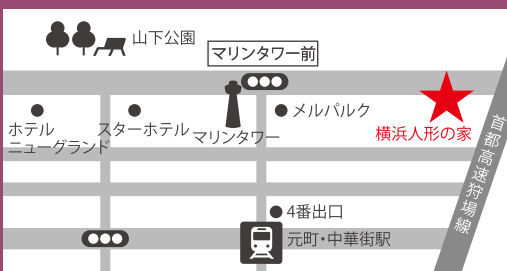
ホームページよりご予約受付中!

www.doll-museum.jp

お申込みフォームよりお申し込みください

※定員になり次第予約受付は終了いたします

お申込みについてご不明の方は下記お電話にてお問い合わせください



みなとみらい線 元町・中華街駅4番出口より徒歩3分

横浜人形の家は「横浜発・世界の人形ふれあいクルーズ」をコンセプトに展開する、世代を超えて楽しめるドールミュージアムです。地域色豊かな人形から人間国宝の手による人形まで、世界140以上の国と地域、約1万点以上の人形を収蔵しています。また、ご家族みんなで楽しめる企画展など様々なイベントを開催しています。



あかいくつ劇場

FAX: 045-671-9022 Mail: info@doll-museum.jp

【開館時間】9:30~17:00(最終入館16:30)

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

<http://www.doll-museum.jp/>